平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 竹田印刷株式会社　　上場取引所　名
コード番号 7875　URL http://www.takeda-prn.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山本 眞一
問合せ先責任者　(役職名) 専務取締役経営統括本部長　(氏名) 井川 誠　TEL 052-871-6351
四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	25,861	7.2	440	75.6	487	120.4	198	—
25年3月期第3四半期	24,125	2.1	251	35.5	221	0.6	12	△75.9

(注)包括利益　26年3月期第3四半期 445百万円 (—%)　25年3月期第3四半期 18百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	24.46	—
25年3月期第3四半期	1.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,167	14,349	47.2
25年3月期	29,726	14,046	46.8

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期 14,241百万円　25年3月期 13,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—		
26年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	5.6	650	26.0	680	23.1	280	79.7	34.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
②①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	8,781,000 株	25年3月期	8,781,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	672,752 株	25年3月期	645,452 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	8,117,282 株	25年3月期3Q	8,135,548 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
４．その他 …… 9
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした経済政策を背景に、個人消費や企業業績の一部に回復の兆しが見え始めた一方、円安進行による原材料価格の上昇や4月に予定されている消費増税の影響など国内景気の下振れ懸念があり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。印刷業界におきましては、企業の広告宣伝需要は戻りつつあるものの、デジタル化の進展などによる印刷物の減少や、受注競争の激化による単価の低迷が続くほか、用紙価格の上昇による採算性の悪化などの影響を受け、低調に推移しております。

このような状況のなか、当社グループは顧客価値の創造を目指し、お客様の潜在的な課題やニーズを発見し、その課題の解決策をご提案する「創注活動」に取り組んでまいりました。また、物流機能を組み合わせた提案や新しい媒体を活用した用途提案など、多様な付加価値提案を展開してまいりました。併せて、予算管理の強化による固定費の削減、内製化促進などによる外注費の削減に取り組むなどコスト管理の強化を図って収益力向上に努めてまいりました。

こうした取り組みの結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間における売上高は258億61百万円（前年同四半期比7.2％増）となりました。利益面では、営業利益4億40百万円（前年同四半期比75.6％増）、経常利益4億87百万円（前年同四半期比120.4%増）、四半期純利益1億98百万円（前年同四半期は12百万円の四半期純利益）となりました。

当第３四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、以下のとおりです。

（印刷）

印刷事業では、広告物・販促物の制作に通販事業で培ったロジスティクス機能を組み合わせた物流ソリューションの提案や、「コンパクトガイド」など新しい媒体を使った用途提案など、多様な付加価値提案を展開いたしました。また、システム提案やデジタルデバイスのコンテンツ提案などお客様のデジタル化ニーズにお応えするほか、イベント企画・運営の受託などの販促支援サービスを推進して、お客様の課題解決を通じたお客様満足度の向上に注力いたしました。

このような取り組みのほか、第２四半期連結会計期間より連結子会社が１社増加したことによる増分があり、印刷事業の売上高は169億8百万円（前年同四半期比10.3％増）となりました。用紙、インクの値上がり傾向がある中、ミスの削減や材料ロスの低減による歩留向上を図るとともに代替品の検討など変動費の抑制に努めたほか、予算管理の強化などによる固定費の削減、内製化促進による外注費の削減などに取り組んだ結果、営業利益は2億10百万円（前年同四半期は0百万円の営業利益）となりました。

（物販）

物販事業では、主要販売先である印刷業界向けにARツールなど印刷の高付加価値化と市場創造につながる商品提案を行うとともに、品質向上・環境性能向上など差別化と競争力強化に向けた商品提案を進めるほか、印刷業種以外への拡販を展開いたしました。

こうした取り組みを図ったものの機械の販売が昨年を下回ったことにより、物販事業の売上高は95億90百万円（前年同四半期比3.2％減）となりました。販管費の圧縮に努めるなどしましたが売上減分をカバーしきれず、営業利益は2億11百万円（前年同四半期比13.8%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の資産の部は、仕掛品など棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ4億40百万円増加し、301億67百万円となりました。

負債の部は、退職給付引当金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1億37百万円増加し、158億17百万円となりました。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ3億3百万円増加し、143億49百万円となり、自己資本比率は47.2％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での平成26年３月期に業績予想は、平成25年11月7日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値のから変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,337,807	4,537,255
受取手形及び売掛金	8,898,141	8,771,151
有価証券	99,946	－
商品及び製品	601,200	748,118
仕掛品	241,518	437,880
原材料及び貯蔵品	108,255	155,939
繰延税金資産	292,868	292,868
その他	704,526	398,467
貸倒引当金	△124,570	△113,265
流動資産合計	15,159,693	15,228,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,020,167	3,914,251
機械装置及び運搬具（純額）	748,696	811,359
土地	5,486,202	5,689,002
リース資産（純額）	850,670	772,290
建設仮勘定	－	808
その他（純額）	145,977	158,132
有形固定資産合計	11,251,714	11,345,844
無形固定資産	330,953	271,314
投資その他の資産		
投資有価証券	1,544,236	1,981,560
繰延税金資産	383,015	259,740
その他	1,330,205	1,295,282
貸倒引当金	△326,089	△257,602
投資その他の資産合計	2,931,369	3,278,979
固定資産合計	14,514,036	14,896,138
繰延資産	52,481	42,641
資産合計	29,726,212	30,167,195

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,955,498	7,203,891
短期借入金	1,200,000	890,000
1年内返済予定の長期借入金	533,648	1,554,442
リース債務	220,539	227,480
未払法人税等	55,887	198,515
賞与引当金	413,226	209,970
その他の引当金	32,700	19,681
その他	962,917	1,237,889
流動負債合計	10,374,416	11,541,870
固定負債		
長期借入金	2,475,483	1,138,039
リース債務	693,349	597,431
長期未払金	83,560	84,340
退職給付引当金	1,823,674	2,183,137
資産除去債務	176,233	179,230
その他	53,113	93,166
固定負債合計	5,305,413	4,275,345
負債合計	15,679,830	15,817,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,937,920	1,937,920
資本剰余金	1,793,446	1,793,446
利益剰余金	10,332,153	10,449,625
自己株式	△497,124	△510,310
株主資本合計	13,566,395	13,670,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333,038	571,222
その他の包括利益累計額合計	333,038	571,222
少数株主持分	146,947	108,075
純資産合計	14,046,381	14,349,979
負債純資産合計	29,726,212	30,167,195

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	24,125,764	25,861,633
売上原価	19,724,911	21,297,764
売上総利益	4,400,853	4,563,869
割賦販売未実現利益戻入額	979	979
差引売上総利益	4,401,832	4,564,849
販売費及び一般管理費	4,150,761	4,124,080
営業利益	251,071	440,768
営業外収益		
受取配当金	23,368	26,419
受取賃貸料	13,471	14,242
受取保険金	7,614	7,207
貸倒引当金戻入額	27,221	22,083
その他	29,602	38,673
営業外収益合計	101,278	108,626
営業外費用		
支払利息	50,535	48,492
持分法による投資損失	75,714	－
その他	4,914	13,512
営業外費用合計	131,163	62,005
経常利益	221,185	487,389
特別利益		
固定資産売却益	18,093	4,489
投資有価証券売却益	－	688
負ののれん発生益	227	4,850
特別利益合計	18,320	10,029
特別損失		
固定資産処分損	13,621	9,388
投資有価証券評価損	21,163	－
投資有価証券売却損	－	475
会員権評価損	15,640	14,844
設備移設費用	15,723	4,807
その他	9,869	1,347
特別損失合計	76,018	30,862
税金等調整前四半期純利益	163,487	466,555
法人税等	143,300	258,768
少数株主損益調整前四半期純利益	20,186	207,786
少数株主利益	7,858	9,232
四半期純利益	12,327	198,554

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	20,186	207,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,378	238,184
その他の包括利益合計	△1,378	238,184
四半期包括利益	18,808	445,971
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,949	436,738
少数株主に係る四半期包括利益	7,858	9,232

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	15,329,460	8,796,303	24,125,764	－	24,125,764
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,728	1,113,753	1,119,481	(1,119,481)	－
計	15,335,189	9,910,056	25,245,246	(1,119,481)	24,125,764
セグメント利益	540	244,969	245,509	5,561	251,071

（注）１　セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	16,904,094	8,957,539	25,861,633	－	25,861,633
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,852	633,271	638,124	(638,124)	－
計	16,908,947	9,590,810	26,499,758	(638,124)	25,861,633
セグメント利益	210,427	211,177	421,605	19,163	440,768

（注）１　セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．その他

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

第２四半期連結会計期間より、株式会社プロセス・ラボ・ミクロンの株式を100％取得したため、連結の範囲に含めております。